

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010100	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	障害者地域生活支援事業	予算事業名	障害者地域生活支援事業 優先度 5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名 炭田 哲也
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、地域生活支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的・効果的に実施し、障害者等がその有する能力及び適性に応じ、安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができる社会の実			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国の地域生活支援事業実施要綱に規定する市町村地域生活支援事業として、必須事業(相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業)及びその他の事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	相談支援事業	人	211	259	259	300
	日常生活用具給付等事業	人	59	60	61	60
	移動支援事業	人	32	36	32	35
	その他事業	人	4385	4,509	4974	5405

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.344	1.468	109	1.450	99	1.340	92	
	臨時職員	0.640		0		-		-	
支出内訳	人件費	12,327,045	11,328,830	92	11,274,176	100	10,916,993	97	
	事業費	40,355,556	42,058,580	104	38,261,592	91	55,501,000	145	
	合計	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134	
	合計	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域生活支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4,234	4,825	114.0	4,900	101.6	5800	118.4	
	実績	4,687	4,864	103.8	5,326	109.5			
指標名2		地域生活支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,955	10,148	101.9	9,733	95.9	9569	98.3	
	実績	8,610	8,647	100.4	7,183	83.1			

【効率性】

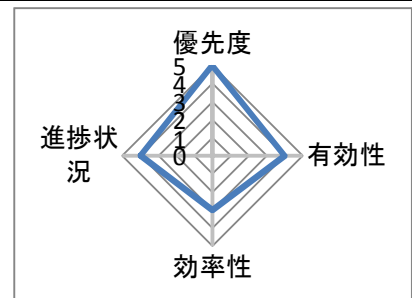
指標名1		地域生活支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,656	2,334	87.9	2,169	92.9	1882	86.8	
	実績	2,630	2,329	88.6	2,116	90.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数が増加傾向にあり、有効的に事業が実施されている。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	負担割合の適正化	対象となる事業が多く、全体のコストから見て、市の負担割合が多くを占めている。	3
	手段の最適性	それぞれの事業について、実施時期や開催場所、開催回数など、概ね適正に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全体としては利用者数も増える傾向にあるが、個々の内容には大きな変化がない為、工夫が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	利用者へ各事業の周知を図るとともに、市の主催事業等で利用者ニーズなどを取り入れていく。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	成年後見制度利用支援事業		予算事業名	成年後見制度利用支援事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		知的障害者福祉法第28条、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第51条の11の2、相生市成年後見制度における市長による審判の請求に関する要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービスを利用する知的・精神障害者のうち、後見開始の審判等の申立てを市町村が行う必要がある者で、配偶者及び四親等以内の親族がいない、申立てに要する経費を助成					
	誰(何)を対象として	後見開始の審判等の申立てに要する経費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	判断能力が不十分な者に対して、適切な後見人を見つけ、本人の財産管理や身上監護を適切に行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所又は居所を有し、法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある者のうち、審判の請求をすべき親族等がいない場合に、本人の福祉の向上を図るために市長が審判の請求を家庭裁判所に行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	市長申立て件数	件	1	0	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.056	0.064	114	0.068	106	0.068	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	792,421	824,102	104	860,806	104	868,193	101	
	事業費	0	240,000	-	240,000	100	899,000	375	
	合計	792,421	1,064,102	134	1,100,806	103	1,767,193	161	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	792,421	1,064,102	134	1,100,806	103	1,767,193	161	
合計	792,421	1,064,102	134	1,100,806	103	1,767,193	161		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立て件数							
指標説明(式)		年間成年後見制度市長申立て件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	2	66.7	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2		成年後見市長申立て1件当たりの助成額							
指標説明(式)		年額助成額/年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	34000	280000	823.5	336000	120.0	240000	71.4	
	実績	0	240000	-	240000	100.0			

【効率性】

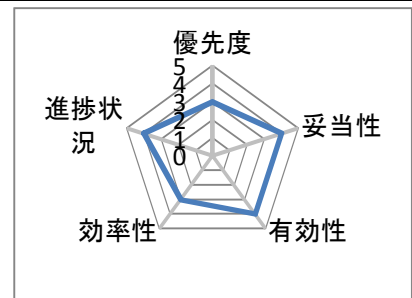
指標名1		成年後見市長申立て1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300807	402813	133.9	425395	105.6	868193	204.1	
	実績	792421	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できた。	4
	市民サービス	今後も施設入所者等の利用が増える可能性がある。	
効率性	手段の最適性	適切な手段により実施されているが、今後施設や病院等との連携を深めていく必要がある。	3
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されているが、後見の必要があると思われる方が利用を拒否される場合の対応等考える必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	客観的な後見の必要性和本人の意思に乖離がある場合の対応に検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各所との連携を深め、必要に応じて個別検討会議等を行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	基幹相談支援センター等運営事業		予算事業名		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名	横家 秀樹	
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点整備事業					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害者					
	誰(何)を対象として	相談支援体制の充実					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことが出来るように支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域における障害者の相談支援の中核的な役割を担う機関として、相談業務等を総合的に実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	相談件数	人				300	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-		-	0.172	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	348,426	-	1,689,793	485	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	348,426	-	1,689,793	485	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	348,426	-	1,689,793	485	
	合計			-	348,426	-	1,689,793	485	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相談件数							
指標説明(式)		年間相談件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-	300	-	
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費／年間相談件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-	45000	-	
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

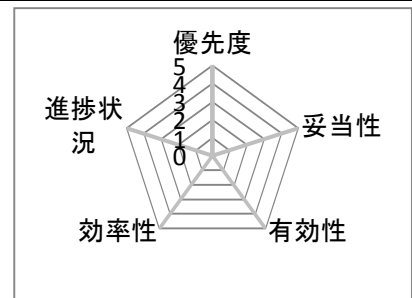
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401020100		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	障害者自立支援事業	予算事業名	障害者自立支援事業	優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		雇用を促進し、就労への支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		障害者基本計画及び障害福祉計画の策定		障害者福祉システムG-trust更新			
		社会保障・税番号制度システム整備事業					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律					
		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児					
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者や家族の不安・軽減を解消することにより、日常生活の安定を図るとともに、障害者の社会参加・自立を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者等の申請に基づき、障害程度区分の認定等を行い、障害福祉サービスの支給決定を行う。この決定に基づき障害福祉サービスを利用した障害者等に対し、その費用の全部又は一部を介護給付費として支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	福祉サービス利用者数	人	4035	4075	4345	4435	
	補装具費給付等決定件数	件	64	64	43	45	
	自立支援医療利用者	人	19	21	15	20	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.988	1.984	100	1.781	90	1.480	83	
	臨時職員	1.307	1.103	84	1.330	121	1.219	92	
支出内訳	人件費	18,937,567	17,967,999	95	17,235,571	96	15,398,404	89	
	事業費	543,117,669	554,042,924	102	585,234,859	106	634,777,040	108	
	合計	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108	
	合計	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者数							
指標説明(式)		年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3,946	4,200	106.4	4,200	100.0	4500	107.1	
	実績	4,118	4,160	101.0	4403	105.8			
指標名2		障害福祉サービス等利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	142,059	140,000	98.6	140,000	100.0	140000	100.0	
	実績	131,921	133,183	101.0	132917	99.8			

【効率性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,668	5,600	98.8	5,600	100.0	5600	100.0	
	実績	4599	4,319	93.9	3915	90.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害福祉サービス利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	サービス量の増加によりコストも増大している。	3
	執行体制の効率性	制度の周知に伴いサービス量が増加しているが、事業所数等提供体制は大きく変わっていないため、サービス提供にあたっての調整が必要になっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者数は増加している。	4

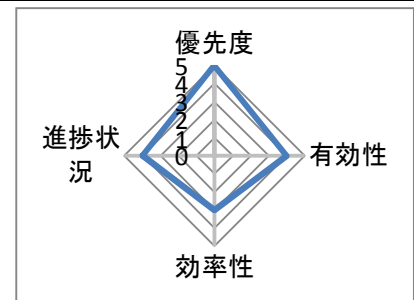
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	利用者、サービス量の増加により事務が煩雑となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の変化に対応しながら効率的な事務執行を図る。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030100	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	福祉サービス第三者評価補助事業	予算事業名	福祉サービス第三者評価補助事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービス等事業者と障害福祉サービス利用者			
	誰(何)を対象として	障害福祉サービス等事業者に対する第三者評価			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害福祉サービス等提供事業者のサービス提供について第三者評価受診経費を補助し、受審促進と評価内容の把握と改善努力によって福祉サービスの質の改善と向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		第三者評価を受審し、福祉サービスの質の改善と向上を図るため、第三者評価受審経費を補助する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	福祉サービス第三者評価補助事業	件	1	1	1	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.056	233		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	544,485	524,822	96	770,386	147	330,993	43	
	事業費	110,000	130,000	118	110,000	85		0	
	合計	654,485	654,822	100	880,386	134	330,993	38	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	654,485	654,822	100	880,386	134	330,993	38	
	合計	654,485	654,822	100	880,386	134	330,993	38	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		第三者評価受審件数							
指標説明(式)		第三者評価受審件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	0	0.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

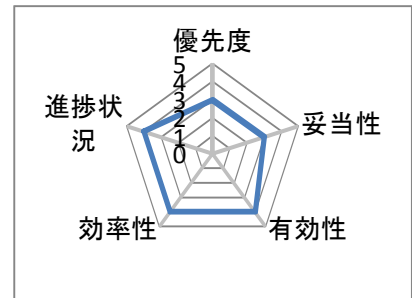
指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷受審件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	150000	100.0	150000	100.0	0	0.0	
	実績	110000	130000	118.2	110000	84.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	補助事業の更なる周知を含めて事業者への周知が必要である。	4
効率性	負担割合の適正化	補助率の見直しは将来的に必要である。	4
	手段の最適性	受審事業者への補助金交付で適正に実施出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業所に対し、第三者評価の必要性、有効性を説明し受審を促す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	サービスの向上を目的とし、未受審の事業所に対し、受審を促す。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030200	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	障害者自立支援事業	予算事業名	障害者自立支援事業 優先度 5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名 炭田 哲也
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		障害者基本計画及び障害福祉計画の策定 障害者福祉システムG-trust更新		社会保障・税番号制度システム整備事業	
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者や家族の不安・軽減を解消することにより、日常生活の安定を図るとともに、障害者の社会参加・自立を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者等の申請に基づき、障害程度区分の認定等を行い、障害福祉サービスの支給決定を行う。この決定に基づき障害福祉サービスを利用した障害者等に対し、その費用の全部又は一部を介護給付費として支給する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	福祉サービス利用者数	人	4035	4075	4345	4435
	補装具費給付等決定件数	件	64	64	43	45
	自立支援医療利用者	人	19	21	15	20

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.988	1.984	100	1.781	90	1.480	83	
	臨時職員	1.307	1.103	84	1.330	121	1.219	92	
支出内訳	人件費	18,937,567	17,967,999	95	17,235,571	96	15,398,404	89	
	事業費	543,117,669	554,042,924	102	585,234,859	106	634,777,040	108	
	合計	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108	
合計	562,055,236	572,010,923	102	602,470,430	105	650,175,444	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者数							
指標説明(式)		年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3,946	4,200	106.4	4,200	100.0	4500	107.1	
	実績	4,118	4,160	101.0	4403	105.8			
指標名2		障害福祉サービス等利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	142,059	140,000	98.6	140,000	100.0	140000	100.0	
	実績	131,921	133,183	101.0	132917	99.8			

【効率性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,668	5,600	98.8	5,600	100.0	5600	100.0	
	実績	4599	4,319	93.9	3915	90.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害福祉サービス利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	サービス量の増加によりコストも増大している。	3
	執行体制の効率性	制度の周知に伴いサービス量が増加しているが、事業所数等提供体制は大きく変わっていないため、サービス提供にあたっての調整が必要になっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者数は増加している。	4

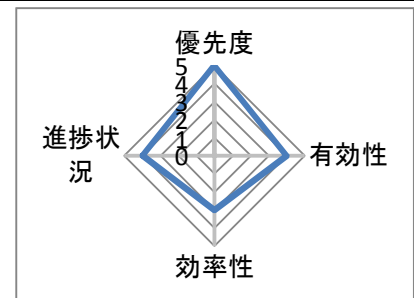
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	利用者、サービス量の増加により事務が煩雑となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の変化に対応しながら効率的な事務執行を図る。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030300	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	重度障害者医療費助成事業	予算事業名	重度障害者医療費助成事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	大西 博之	担当者名
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	重度障害者医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	重度障害者医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度障害者の医療費の一部を助成する(18年度より重度精神障害者を含む)				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	助成費	円	54,074,949	53,378,665	53,474,021	58,000,000
	助成件数	件	6,309	6,473	6,463	6,760
	平均受給者数	人	332	324	324	330

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.285	0.204	72	0.462	226	0.486	105	
	臨時職員	0.026	0.014	54	0.050	357	0.053	106	
支出内訳	人件費	2,629,893	1,906,848	73	3,959,946	208	4,317,150	109	
	事業費	54,074,949	53,378,665	99	53,474,021	100	58,000,000	108	
	合計	56,704,842	55,285,513	97	57,433,967	104	62,317,150	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	27,037,474	26,689,332	99	26,597,283	100	29,000,000	109	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	29,667,368	28,596,181	96	30,836,684	108	33,317,150	108	
合計	56,704,842	55,285,513	97	57,433,967	104	62,317,150	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	176,806	171,667	97.1	171,472	99.9	175,758	102.5	
	実績	162,876	164,749	101.1	165,043	100.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	356	231	64.9	283	122.5	639	225.8	
	実績	417	295	70.7	613	207.8			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の重度障害者に対し、適正な医療費助成を行った。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	人員割合を精査したため、1件当りのコストは上昇した。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速かつ適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

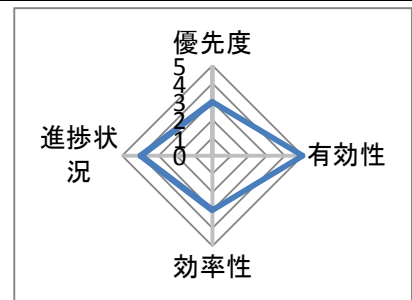
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、事業の見直しを検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	資格喪失後に、高齢重度障害者医療費助成事業又は高齢期移行助成事業の対象者となる者に対する勧奨などを行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401030400		事業の種類		1	
年度	28	事務事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	予算事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	大西 博之		
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍障害者等福祉給付金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等					
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍障害者等に対し、福祉給付金を支給する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	無年金外国籍障害者等福祉給付金事務	人(延べ)	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.000	0	0.004	-	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	513,493	494,894	96	348,426	70	362,593	104	
	事業費	0	0	-	0	-	-	-	
	合計	513,493	494,894	96	348,426	70	362,593	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	513,493	494,894	96	348,426	70	362,593	104	
合計	513,493	494,894	96	348,426	70	362,593	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

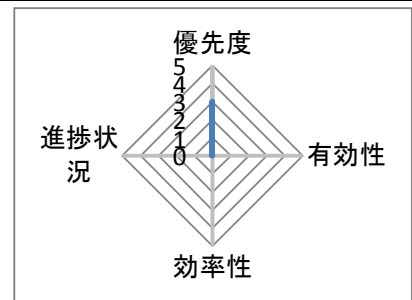
指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	40	40	100.0	31	77.5	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし。	
	成果目標(改善)達成度	対象者なし。	
効率性	コストの節減	対象者なし。	
	執行体制の効率性	対象者なし。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	在日外国籍障害者等の無年金問題は、本来、国の責任において実施すべき施策である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	関係機関を通じて、国に代替施策の実施を要望していく。

配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030500		事業の種類	5	
年度	28	事務事業名	障害者団体等補助事業		予算事業名	障害者団体等補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者・障害児とその家族					
	誰(何)を対象として	障害者各団体の活動費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者の活動の場や行動範囲を広げ、社会参加及び自立した生活を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者及びその家族等で構成され、障害者福祉向上のために活動している障害者団体の経営基盤の安定と活動の発展に資することを目的に、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	相生市身体障害者協会事業	円	250,000	250,000	250,000	250,000	
	相生市手をつなぐ育成会事業	円	200,000	200,000	200,000	200,000	
	ハートフルフェア事業	円	900,000	900,000	900,000	900,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.040	500	0.048	120	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	420,517	405,110	96	649,826	160	710,193	109	
	事業費	1,350,000	1,350,000	100	1,350,000	100	1,350,000	100	
	合計	1,770,517	1,755,110	99	1,999,826	114	2,060,193	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,770,517	1,755,110	99	1,999,826	114	2,060,193	103	
合計	1,770,517	1,755,110	99	1,999,826	114	2,060,193	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助団体数							
指標説明(式)		年間補助金交付実績数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

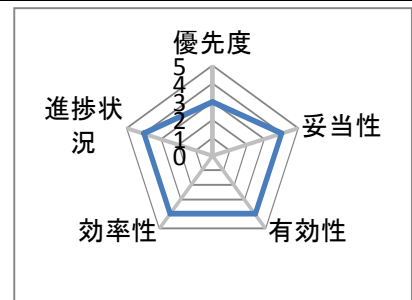
指標名1		障害者団体への補助金交付に係る1件あたりのコスト							
指標説明(式)		年間人件費／補助団体数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129,479	123,724	95.6	210,255	169.9	236,731	112.6	
	実績	140,172	135,037	96.3	216,609	160.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害者団体が活動を行うための適正な交付を行うことができた。	4
	市民サービス	補助金の交付により、障害者団体を構成する障害者及びその家族の社会福祉活動の向上が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	それぞれの障害者団体の活動状況に応じた適正な補助が行われている。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	補助金を交付し、障害者(児)の交流の輪を広げ、情報交換の場を確保するとともに、社会参加を促進する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な執行体制・方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030600	事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	特別障害者手当等支給事業	予算事業名	特別障害者手当等支給事業	
優先度	3	実施計画	特別障害者手当等支給事業	優先度	3	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち					
担当部局名	健康福祉部社会福祉課					
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	河合 奏希
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	特別児童扶養手当等の支給に関する法律第17～26条、第26条の2～5及び国民年金法の一部を改正する法律附則第97条第2項で準用する第18条・令第42号附則第2条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別障害者手当: 福祉手当より重度の障害を持つ20歳以上の者。障害児福祉手当: 重度の障害を持つ20歳未満の児童。経過福祉手当: 法改正前の福祉手当受給資格者のうち、特別障				
	誰(何)を対象として	福祉手当受給対象者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により、特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	福祉手当対象者より重度の障害を持つ20歳以上の者に特別障害者手当を月額26,620円支給する。重度の障害を持つ20歳未満の児童に障害児福祉手当を月額14,480円支給する。国民年金法改正前の福祉手当受給資格者のうち、改正法の特別障害者手当に該当せず、か					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	特別障害者手当	延人	240	242	265	300
	障害児福祉手当	延人	107	97	86	120
	経過福祉手当	延人	24	24	24	24

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.124	155	0.084	68	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	978,373	943,814	96	1,282,766	136	994,593	78	
	事業費	8,096,340	8,161,840	101	8,705,210	107	10,152,000	117	
	合計	9,074,713	9,105,654	100	9,987,976	110	11,146,593	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,074,713	9,105,654	100	9,987,976	110	11,146,593	112	
合計	9,074,713	9,105,654	100	9,987,976	110	11,146,593	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別障害者手当等支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	380	372	97.9	408	109.7	444	108.8	
	実績	371	363	97.8	375	103.3			
指標名2		特別障害者手当等1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	21024	24309	115.6	22694	93.4	22865	100.8	
	実績	21823	22484	103.0	23214	103.2			

【効率性】

指標名1		特別障害者手当等支給に係る1件当たりコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2544	2506	98.5	3164	126.3	2240	70.8	
	実績	2637	2600	98.6	3421	131.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事態を適正にすることができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者の増により、コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	認定事務及び支給事務は計画的に処理出来ている	4

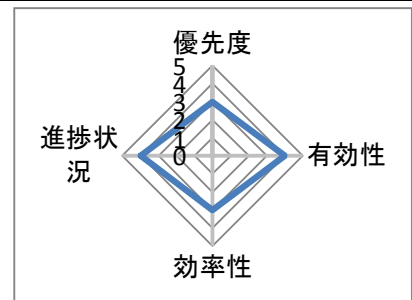
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手当の支給条件が複雑であり、対象者の適正な確認が困難。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度への理解を深めるとともに、対象のある可能性の手帳取得者等へ案内を行う。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030700	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業	予算事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	河合 奏希
主要事業の指定				無	
根拠法規及び関連法規		兵庫県重度心身障害者(児)介護手当支給事業実施要綱、相生市重度心身障害者介護手当支給条例、相生市重度心身障害者介護手当支給条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳未満の介護保険を利用しない重度の身体障害者手帳及び療育手帳認定者で、居宅で6ヶ月以上常時臥床の状態若しくは同様の状態であり、常時介護を要する者を主として介護し			
	誰(何)を対象として	常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する重度障害のために要する特別な経済的需用。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度心身障害者(児)の介護者又は障害者本人の経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体障害者手帳1・2級及び重度の療育手帳認定者であって、居宅において6ヶ月以上常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する65歳未満の者を主として介護している者に、月額1万円の介護手当を支給する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	重度心身障害者(児)介護手当	延人	281	291	315	400

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.124	207	0.084	68	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	823,413	794,174	96	1,282,766	162	994,593	78	
	事業費	1,362,498	1,379,165	101	1,470,828	107	2,000,000	136	
	合計	2,185,911	2,173,339	99	2,753,594	127	2,994,593	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,185,911	2,173,339	99	2,753,594	127	2,994,593	109	
合計	2,185,911	2,173,339	99	2,753,594	127	2,994,593	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		重度心身障害者(児)介護手当支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	300	300	100.0	300	100.0	400	133.3	
	実績	281	291	103.6	315	108.2			
指標名2		重度心身障害者(児)介護手当1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	4667	4667	100.0	5000	107.1	5000	100.0	
	実績	4849	4739	97.7	4669	98.5			

【効率性】

指標名1		重度心身障害者(児)介護手当1件当たりコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2687	2582	96.1	4303	166.7	2486	57.8	
	実績	2930	2729	93.1	4072	149.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者の増により、コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに事務執行できている。	4

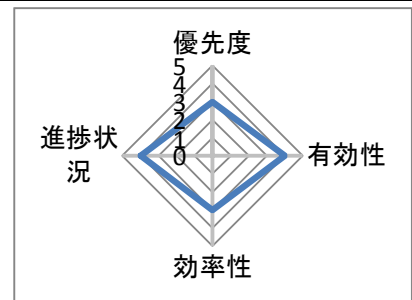
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県事業分・市単独分の受給資格認定業務等が複雑であり、適正に執行する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的に執行する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030800		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業	予算事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	河合 奏希
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市重症心身障害者福祉年金条例、相生市重症心身障害者福祉年金条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者。					
	誰(何)を対象として	重度の障害のために要する特別な経済的需用。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度の身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者に福祉年金を支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	1級福祉年金	延人	5651	5730	5825	5940	
	2級福祉年金	延人	1987	1864	1814	2040	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.158	110	0.124	78	0.084	68	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,474,245	1,527,410	104	1,282,766	84	994,593	78	
	事業費	16,741,600	16,734,400	100	16,882,400	101	17,520,000	104	
	合計	18,215,845	18,261,810	100	18,165,166	99	18,514,593	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,215,845	18,261,810	100	18,165,166	99	18,514,593	102	
合計	18,215,845	18,261,810	100	18,165,166	99	18,514,593	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉年金支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	7785	7710	99.0	7800	101.2	7980	102.3	
	実績	7638	7594	99.4	7639	100.6			
指標名2		福祉年金1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2189	2190	100.0	2196	100.3	2195	100.0	
	実績	2191	2204	100.6	2210	100.3			

【効率性】

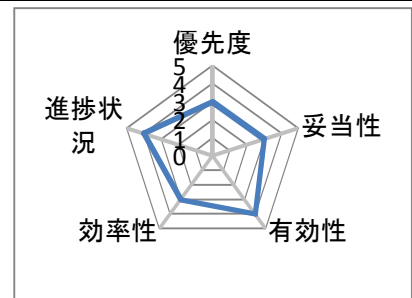
指標名1		福祉年金支給に係る1件あたりコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	190	200	105.3	165	82.5	125	75.8	
	実績	193	201	104.1	168	83.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	福祉年金の支給により、障害者の経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	総事業費は前年とほぼ同額のため、コスト節減することはできなかった。	3
	手段の最適性	手帳交付時に受給資格対象者に申請をしてもらうことで適正に実施することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が処理されている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手帳交付時に受給資格対象者に申請をもらうことで適正に実施することができた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	対象者の受給資格を徹底し、最適な事務の執行を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030900	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	身体障害者福祉基金事業	予算事業名	身体障害者福祉基金事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名 山本 由香里
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市身体障害者福祉金支給規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者1級・2級を所持し、下肢または体幹機能障害により車椅子等を使用している身体障害者またはその介護者			
	誰(何)を対象として	車いす等を利用する身体障害者が、リフト付車両等を新規に購入またはリフト装置等を車両に装着する経費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	リフト付車両等の新規購入またはリフト装置等を車両に装着する経費を助成することにより、身体障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体障害者福祉基金の運用益をもって、身体障害者手帳1・2級を所持し下肢又は体幹機能障害により車いす等を使用している在宅の身体障害者又はその介護者に対し、リフト付車両等の新規購入等にかかる経費に対し100,000円を限度に助成する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	福祉金助成件数	件	0	2	1	2

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.024	300	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	420,517	405,110	96	529,266	131	520,593	98	
	事業費	132,788	200,000	151	100,000	50	201,000	201	
	合計	553,305	605,110	109	629,266	104	721,593	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	553,305	605,110	109	629,266	104	721,593	115	
	合計	553,305	605,110	109	629,266	104	721,593	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	2	-	1	50.0			
指標名2		福祉金1人当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	200000	200000	100.0	200000	100.0	200000	100.0	
	実績	0	100000	-	100000	100.0			

【効率性】

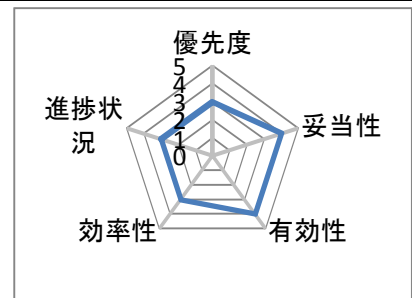
指標名1		福祉金助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	194218	185589	95.6	252519	136.1	260296	103.1	
	実績	210258	202555	96.3	529266	261.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し適切に実施することができた。	4
	市民サービス	助成金の支給により障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上が図れた。	
効率性	手段の最適性	効率的に実施されている。	3
	手段の最適性	最適な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者(児)にとって自動車は移動手段として重要であり、経済的負担の軽減、社会参加、就労等を促進、生活の質の向上が図れる



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適切に執行する

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031000		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業	予算事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	山本 由香里
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市中心身障害児童就学奨励金支給規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学校に在籍する心身障害児の保護者で市内に1年以上市内に住所を有する保護者					
	誰(何)を対象として	心身障害児童の就学に要する経済的負担					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害児童の就学に要する経済的負担を軽減し、就学環境の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学校に就学する心身に障害のある児童であって、市内に引き続き1年以上住所を有する児童及びこれら以外の児童で当該児童の保護者が市内に引き続き1年以上住所を有する児童の保護者に就学奨励金を支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	就学奨励金	件	26	33	34	34	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.024	150	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	482,501	464,966	96	529,266	114	520,593	98	
	事業費	312,000	396,000	127	408,000	103	408,000	100	
	合計	794,501	860,966	108	937,266	109	928,593	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	794,501	860,966	108	937,266	109	928,593	99	
合計	794,501	860,966	108	937,266	109	928,593	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨励金支給件数							
指標説明(式)		年間の奨励金支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	23	33	143.5	34	103.0	34	100.0	
	実績	23	33	143.5	34	103.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

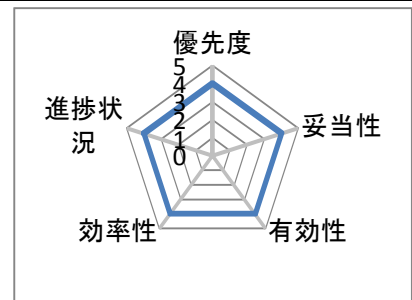
指標名1		奨励金支給に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	19681	13128	66.7	14854	113.1	153116	1030.8	
	実績	20978	14089	67.2	155667	1104.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	奨励金支給対象者を的確に把握し、適正な支給を行うことができた。	4
	市民サービス	奨励金の支給による経済的負担の軽減により、心身障害児の就学環境の向上が図られた。	
効率性	手段の最適性	効率的に実施されている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が執行できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害のある児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し就学環境の向上が図れる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業を継続し、心身障害児とその保護者の福祉の増進を図る

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	予算事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	河合 奏希
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県心身障害者扶養共済制度条例施行規則、相生市心身障害者扶養共済制度掛金助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者					
	誰(何)を対象として	共済制度掛金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	共済制度掛金の一部を助成し、制度への加入促進及び加入者の負担軽減を図ることにより、保護者が死亡・高度障害になった場合の障害者の経済的安定を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の保護者が、毎月納入する共済制度掛金の額を課税状態に応じて助成する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	助成件数	件	4	2	1	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.084	420	0.084	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	513,493	494,894	96	981,366	198	994,593	101	
	事業費	49,625	84,434	170	23,831	28	51,000	214	
	合計	563,118	579,328	103	1,005,197	174	1,045,593	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	563,118	579,328	103	1,005,197	174	1,045,593	104	
合計	563,118	579,328	103	1,005,197	174	1,045,593	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	4	3	75.0	3	100.0	2	66.7	
	実績	4	2	50.0	1	50.0			
指標名2		心身障害者扶養共済制度掛金助成1件当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	24500	28667	117.0	38333	133.7	25500	66.5	
	実績	12406	42217	340.3	23831	56.4			

【効率性】

指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間助成件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	121202	154758	127.7	325506	210.3	497297	152.8	
	実績	128373	247447	192.8	981366	396.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	掛金の助成により、共済制度加入者の経済的負担の軽減が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	世帯の所得階層に応じた助成を行うことで、障害者(児)の保護者の負担に対して適正な助成を行った。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	定期的な事務であり計画通りに執行できている	4

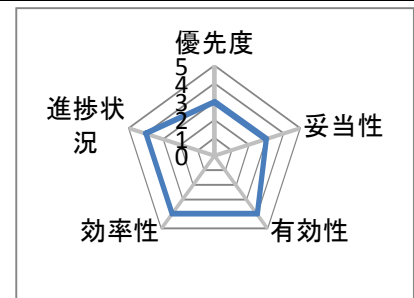
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	一部の対象者のみの利用となっている状態であるため、市民ニーズを適切に図ることが難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	今後の新規加入者の動向にも注意を払いながら、市民ニーズについて検討を行う。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031200	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	心身障害者(児)歯科診療事業	予算事業名	心身障害児(者)歯科診療事業
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名 横家 秀樹
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)			
	誰(何)を対象として	社団法人相生・赤穂市郡歯科医師会附属歯科診療所			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者(児)が、その心身の障害にかかわらず、適切な歯科治療を受けることができ、安心して健康的な日常生活を送ることができるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)を対象に、歯科治療及び予防的な処置を行う歯科診療所に対し、相生市、赤穂市、上郡町が共同で運営に要する費用の一部を助成する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	受診延人数	人	81	74	83	80

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.048	300	0.048	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	482,501	464,966	96	710,106	153	710,193	100	
	事業費	2,837,000	2,855,000	101	2,476,000	87	2,404,000	97	
	合計	3,319,501	3,319,966	100	3,186,106	96	3,114,193	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,319,501	3,319,966	100	3,186,106	96	3,114,193	98	
合計	3,319,501	3,319,966	100	3,186,106	96	3,114,193	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		歯科診療所受診者数							
指標説明(式)		年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	60	120.0	70	116.7	80	114.3	
	実績	81	74	91.4	83	112.2			
指標名2		歯科診療所受診者1人当り助成額							
指標説明(式)		年間助成額/年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	56740	47583	83.9	35371	74.3	30050	85.0	
	実績	35024	38581	110.2	29831	77.3			

【効率性】

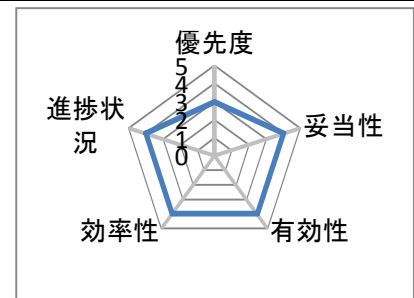
指標名1		歯科診療所受診者に係る1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	9650	7220	74.8	9909	137.2	8877	89.6	
	実績	5957	6283	105.5	8555	136.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成できた。	4
	市民サービス	障害者(児)に適正な歯科診療を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	負担割合の見直しを行い、平成28年度から適用となった。	4
	手段の最適性	障害者(児)のニーズに対応するための、適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規受診者の手続き及び補助金交付事務は計画的に処理できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	継続利用が大半となっており、新規利用が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	利用者増のため、周知に努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031300	事業の種類	9
年度	28	事務事業名	障害福祉計画等策定事業	予算事業名	障害福祉計画等策定事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名 横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		障害者基本法・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	身体・知的・精神障害者、障害児の暮らしにくさ、生活のしづらさ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	国の障害者施策全般の見直しを考慮し、相談支援、教育・療育支援、就労支援、人材育成を進め、支援体制を充実させ、障害者の生活上の問題を解消する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市障害者基本計画及び障害福祉計画が見直しの時期を迎えたため、第3次障害者基本計画(計画期間:平成30年度~35年度)及び第5期障害福祉計画(計画期間:平成30年度~32年度)を策定する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	アンケート調査(障害者)	件	0	0	0	1500
	アンケート調査(一般市民)	件	0	0	0	500
	ヒアリング調査	件	1	0	0	10
	障害者手帳所持者数	人	1709	1726	1706	1700

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.260	0.260	100	0.260	100	0.316	122	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,373,013	2,290,574	97	2,307,526	101	2,827,393	123	
	事業費	999,000		0		-	4,195,960	-	
	合計	3,372,013	2,290,574	68	2,307,526	101	7,023,353	304	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,372,013	2,290,574	68	2,307,526	101	7,023,353	304	
	合計	3,372,013	2,290,574	68	2,307,526	101	7,023,353	304	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

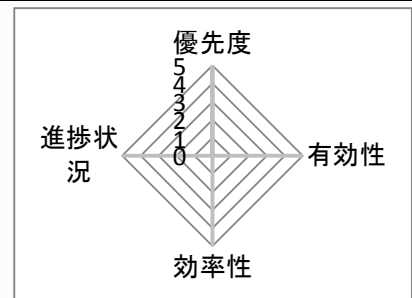
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市第4期障害福祉計画の策定が完了した。	
	関係(根拠)法令から見た効果	障害者総合支援法に基づいて策定できている。	
効率性	コストの節減	委託範囲を縮小し、コスト節減につなげた。	
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	福祉タクシー助成事業		予算事業名	在宅重度心身障害者(児)等福祉事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市重度心身障害者(児)等社会参加促進交通費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児					
	誰(何)を対象として	重度の障害による外出や移動の困難さ、またそのために発生する経済的負担。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害による外出や移動の困難さ、それに伴う経済的負担を軽減し、障害者の自立及び社会参加の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業を利用しようとする者からの申請に基づき利用の可否を決定し、決定を受けた申請者に対し1月当たり3枚を限度として福祉タクシー利用券を交付する。助成対象は、利用者が控除を受ける利用券1枚につきタクシーの基本料金の9割相当額とし、当該控除額を利用したタクシー事					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	事業利用者	人	106	127	97	100	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.036	0.028	78	0.016	57	0.016	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	734,661	655,510	89	573,266	87	568,153	99	
	事業費	1,015,640	1,082,060	107	952,080	88	1,140,000	120	
	合計	1,750,301	1,737,570	99	1,525,346	88	1,708,153	112	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	1,750,301	1,737,570	99	1,525,346	88	1,708,153	112	
	合計	1,750,301	1,737,570	99	1,525,346	88	1,708,153	112	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業利用者数							
指標説明(式)		年間事業利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	115	115	100.0	115	100.0	100	87.0	
	実績	106	127	119.8	97	76.4			
指標名2		発行タクシー券の利用率							
指標説明(式)		利用枚数/発行枚数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	53.3	48.0	90.1	54.3	113.1			

【効率性】

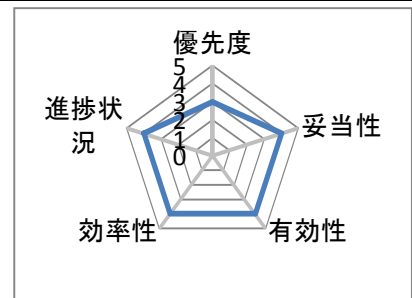
指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間事業利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	5,653	5,486	97.0	4786	87.2	5682	118.7	
	実績	6,931	5,161	74.5	5910	114.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	障害者の移動支援、病院への通院、社会参加などを促進することができた。	
効率性	コストの節減	申請者、利用枚数はほぼ横ばいで推移している。	4
	手段の最適性	適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請・交付事務及び支払い事務は毎月計画的に執行できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	発行枚数の妥当性の検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	他市町の状況等を参考に、今後の取扱いの検討が必要

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031700	事業の種類	1
年度	28	事務事業名	障害児通所給付支給事業	予算事業名	障害児通所給付支給事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	担当者名	
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	児童福祉法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害児			
	誰(何)を対象として	障害児やその家族の日常生活上の暮らしにくさ、自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害児やその家族に対して支援を行うことにより、日常生活の基本的動作の訓練や、自立に必要な知識技能の習得を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	障害児の保護者等の申請に基づき、障害児通所支援の支給決定を行う。この決定に基づき障害児通所支援を利用した障害児の保護者等に対し、その費用の全部又は一部を障害児通所給付費として支給する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	障害児通所支援利用者数	人	459	486	406	423

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.184	0.160	87	0.280	175	0.340	121
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,784,165	1,542,374	86	2,458,226	159	3,016,993	123
	事業費	14,422,183	19,998,320	139	20,429,145	102	20,520,000	100
	合計	16,206,348	21,540,694	133	22,887,371	106	23,536,993	103
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	16,206,348	21,540,694	133	22,887,371	106	23,536,993	103
合計	16,206,348	21,540,694	133	22,887,371	106	23,536,993	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	障害児通所支援事業利用者数								
指標説明(式)	年間障害児通所支援事業利用者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	417	576	138.1	519	90.1	423	81.5	
	実績	459	486	105.9	406	83.5			
指標名2	障害児通所支援事業利用者1人当り事業費								
指標説明(式)	年間事業費/年間障害児通所支援事業利用者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	37,107	30475	82.1	39535	129.7	48511	122.7	
	実績	31420	34719	110.5	50318	144.9			

【効率性】

指標名1		障害児通所支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	4,321	2692	62.3	4849	180.1	7132	147.1	
	実績	3887	3173	81.6	6055	190.8			

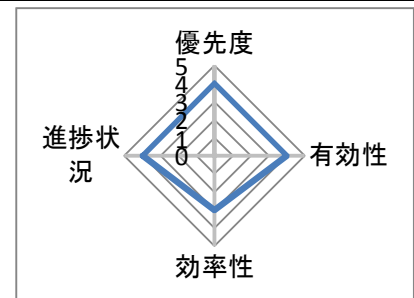
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害児通所支援利用希望者が適正なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	給付費の増のため、コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	利用者増に伴い事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率化を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容の複雑化に対応するため、効率的な事務の執行が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の適正な実施のため、国、県からの情報に注視しながら、システム等を活用し、事務の効率化を図る。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020401031800	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業
予算事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業	優先度	4
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	清水 直子
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する	担当者名	山本 由香里
実施計画事業名		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市在宅重症心身障害児(者)訪問看護利用支援事業実施要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者のうち、身体障害者福祉法施行規則別表第5条の肢体不自由1級に該当し、かつ、判定機関において知的障害の程度が重度と判定され	
	誰(何)を対象として	医療保険各法の規定による訪問看護療養費の利用料の一部。	
	意図(どのような状態にしたいのか)	居宅において継続して療養を受ける必要がある者に訪問看護療養費の一部を助成することにより、重度障害者の福祉の増進を図る。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	市内に住所を有する身体障害者福祉法第15条に規定する肢体不自由1級に該当し、かつ、知的障害の程度が重度と判定された者又はその家族に対し、訪問看護療養費の100分の10に相当する額を一部負担金として控除した額を助成する。			
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績
	重症心身障害児(者)訪問看護療養費利用料助成費	人数	0	0
			28年度実績	29年度計画
			0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.002	0.004	200	0.012	300	0.024	200
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	374,029	375,182	100	438,846	117	520,593	119
	事業費	0	0	-	0	-	256,000	-
	合計	374,029	375,182	100	438,846	117	776,593	177
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	374,029	375,182	100	438,846	117	776,593	177
合計	374,029	375,182	100	438,846	117	776,593	177	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	訪問看護療養費助成利用人数								
指標説明(式)	年間助成人数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2	訪問看護療養費一人当たり助成額								
指標説明(式)	年間事業費/年間助成人数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標	256000	256000	100.0	256000	100.0	256000	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

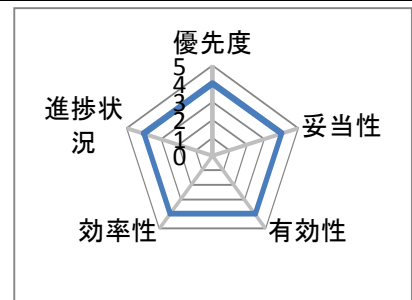
指標名1		訪問看護療養費助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標	256000	256000	100.0	256000	100.0	256000	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者へ「障害者福祉制度のてびき」で制度について説明したが申請はなかった。	4
	市民サービス	助成金の支給により、障害児(者)の経済的負担を軽減できる。	
効率性	手段の最適性	対象となる障害児(者)へ「障害者福祉制度のてびき」で助成制度について周知した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象となる障害児の保護者等から問合せがあったが申請には至らなかった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者とその家族の経済的負担を軽減できる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	制度の周知を図り、在宅障害者の経済的負担を軽減する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401031900		事業の種類		4	
年度	28	事務事業名	軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	予算事業名	軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	山本 由香里
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児					
	誰(何)を対象として	身体障害者手帳の交付対象とならない者であって、両耳とも聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満であるもの又は片耳の聴力レベルが70デシベル以上で、他方の耳の聴力レベルが70デシベル未満のものであり、補聴器の装用により言語の習得等に効果が期待できる児童の保護					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児の補聴器購入費用等の一部を助成することにより、言語の習得、教育等における健全な発達を支援し、もって福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保護者が市内に住所を有する18歳までの児童であって、身体障害者手帳の交付対象とならない聴力(両耳とも聴力レベルが30dB以上70dB未満であるもの又は片耳の聴力レベルが70dB未満のもの)であり、補聴器の装用により言語の習得等に効果が期待できる児童の保護				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業	人数	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.024	120	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	513,493	494,894	96	529,266	107	520,593	98	
	事業費		80,000	-	80,000	100	100,000	125	
	合計	513,493	574,894	112	609,266	106	620,593	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	513,493	574,894	112	609,266	106	620,593	102	
合計	513,493	574,894	112	609,266	106	620,593	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		軽・中度難聴児補聴器購入費等助成利用人数							
指標説明(式)		年間助成人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		事業対象者1人当たり助成額							
指標説明(式)		年間助成額/年間事業利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	80000	80000	100.0	80000	100.0			

【効率性】

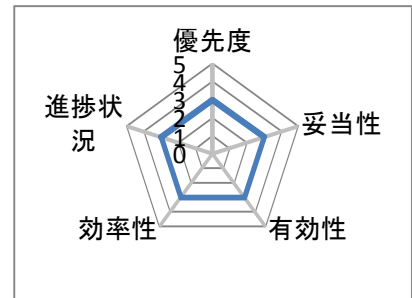
指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間事業利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	513493	464274	90.4	505038	108.8	520593	103.1	
	実績	513493	494894	96.4	529266	106.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校等の関係機関からの問い合わせと保護者からの申請により支給。	3
	市民サービス	助成金の支給により、障害者福祉サービスの対象とならない聴覚障害児の保護者への経済的負担を軽減できる。	
効率性	手段の最適性	広報掲載により制度について周知を図った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	早期に補聴器を使用することで言語の獲得、学習力、コミュニケーション能力等の向上に効果があり、事業の必要性は高い。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	障害者手帳の交付対象とならない軽・中度難聴児の言語発達およびコミュニケーション力の向上等に補聴器の使用が有意であり、家族の負担も軽減される。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401040100		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	障害者地域生活支援事業		予算事業名	障害者地域生活支援事業 優先度 5	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		障害者の社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、地域生活支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児					
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的・効果的に実施し、障害者等がその有する能力及び適性に応じ、安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができる社会の実					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国の地域生活支援事業実施要綱に規定する市町村地域生活支援事業として、必須事業(相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業)及びその他の事業を実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	相談支援事業	人	211	259	259	300	
	日常生活用具給付等事業	人	59	60	61	60	
	移動支援事業	人	32	36	32	35	
	その他事業	人	4385	4,509	4974	5405	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	1.344	1.468	109	1.450	99	1.340	92	
	臨時職員	0.640		0		-		-	
支出内訳	人件費	12,327,045	11,328,830	92	11,274,176	100	10,916,993	97	
	事業費	40,355,556	42,058,580	104	38,261,592	91	55,501,000	145	
	合計	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134	
合計	52,682,601	53,387,410	101	49,535,768	93	66,417,993	134		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域生活支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4,234	4,825	114.0	4,900	101.6	5800	118.4	
	実績	4,687	4,864	103.8	5,326	109.5			
指標名2		地域生活支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,955	10,148	101.9	9,733	95.9	9569	98.3	
	実績	8,610	8,647	100.4	7,183	83.1			

【効率性】

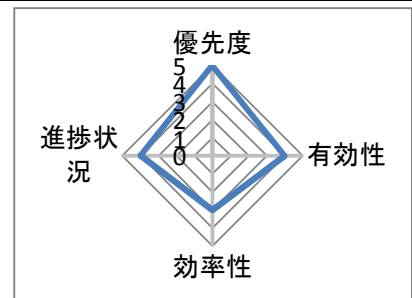
指標名1		地域生活支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,656	2,334	87.9	2,169	92.9	1882	86.8	
	実績	2,630	2,329	88.6	2,116	90.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数が増加傾向にあり、有効的に事業が実施されている。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	負担割合の適正化	対象となる事業が多く、全体のコストから見て、市の負担割合が多くを占めている。	3
	手段の最適性	それぞれの事業について、実施時期や開催場所、開催回数など、概ね適正に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全体としては利用者数も増える傾向にあるが、個々の内容には大きな変化がない為、工夫が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	利用者へ各事業の周知を図るとともに、市の主催事業等で利用者ニーズなどを取り入れていく。

配点	25
総合評価	21